

第10分科会

分科会テーマ	大学・短大図書館のこんなときどうする？
共同発表・司会	小山純奈（松本短期大学図書館） 鈴木史子（信州大学附属図書館農学部図書館）
発表形態	ワークショップ

1 発表の概要

参加館で「こんなとき」について事例を共有し、安全管理意識を高めることを目的としたワークショップを行った。参考資料として、日本図書館協会図書館政策企画委員会『こんなときどうするの？』改訂版編集チーム編（2014）『みんなで考える こんなときどうするの？図書館における危機安全管理マニュアル作成の手引き』日本図書館協会 を用いた。

1) 目標

- (1) 「こんなときどうする？大学専門図書館部会 ver.」の作成
- (2) Google サイト（※2015年度分科会にて作成）にアップ

2) 手法

今大会前に、メールで参加館に「こんなとき」の事例を募り、発表館が以下の通りカテゴリー分けした。

- (1) 図書館の利用マナー（著作権、飲食、私語、荷物放置・席取り、困った利用者への対応）
- (2) 資料の利用マナー（汚破損、又貸し、延滞、無断持ち出し、帯出資料の管理）
- (3) 館内環境（空調、資料の日焼け）
- (4) 安全管理、災害時、緊急事態発生時
- (5) その他（和装本の取り扱い、障害のある利用者への対応・支援）

当日、参加館は各事例への対応方法、予防策を持ち寄り、グループごとにパソコン、模造紙、付箋等を用いて情報交換・提案をし、発表・質疑応答を行った。後日、発表館がまとめ、Google サイトにアップすることにより、全参加館での共有を図る。

2 討議の概要

- (1) 図書館の利用マナー（時間や場所のゾーニング、声掛け、ポスター、巡回、ルールや手続きの整備）
- (2) 資料の利用マナー（返却時の資料確認、利用状況のお知らせ、サービス条件変更の検討）
- (3) 館内環境（状況に応じる、資料の優先順位づけ、資料の装備、ブラインド）
- (4) 安全管理、災害時、緊急事態発生時（館内エリアごとの分担制、巡回、防犯ブザーの確認、トウガラシスプレー・カラーボールの常備、虫よけ植物の植栽）
- (5) その他（和装本は清潔な素手で扱う、学内関係部署との連携、リーディングトラッカー・拡大鏡の整備）

3 まとめ

各事例への具体的な対応策はGoogle サイトにアップする。



グループでの情報交換・提案



発表の様子